

6

民保の解約・失効の状況

解約・失効の経験率とは

2021（令和3）年から本調査実施時点までの期間において、民保の生命保険の解約・失効を経験したことのある世帯数を、全回答世帯数で除した割合のことをいう。なお、解約・失効のなかには、払済保険、延長定期保険、転換制度（下取り制度）の利用を含めない。

民間生命保険の解約・失効について、過去3年間の解約・失効の経験率、解約・失効までの継続期間、解約・失効理由などを尋ねている。

（1）解約・失効の経験

2021（令和3）年からの3年間における民保（かんぽ生命を除く）の解約・失効の経験率は10.0%（前回10.3%）となっている。（図表I-179）

〈図表I-179〉解約・失効経験率

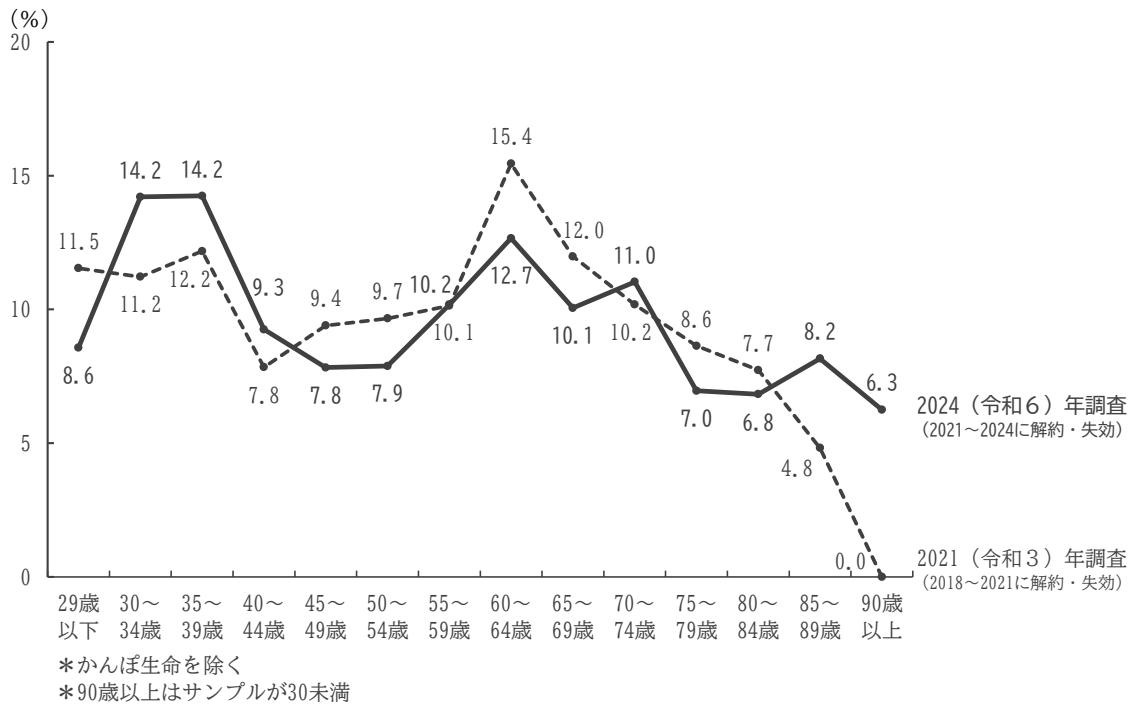
(%)

	あり				なし	不明
		1件	2件	3件以上		
2024（令和6）年調査 （2021～2024年に解約・失効）	10.0	6.6	2.3	1.2	88.7	1.3
2021（令和3）年調査 （2018～2021年に解約・失効）	10.3	7.5	2.1	0.8	88.2	1.5
2018（平成30）年調査 （2015～2018年に解約・失効）	9.2	6.9	1.7	0.7	86.8	4.0
2015（平成27）年調査 （2012～2015年に解約・失効）	11.2	7.6	2.6	1.0	87.2	1.6
2012（平成24）年調査 （2009～2012年に解約・失効）	12.4	9.1	2.3	1.0	86.3	1.3

*かんぽ生命を除く

世帯主年齢別にみると、「30～34歳」および「35～39歳」でそれぞれ14.2%と最も高くなっている。(図表I-180)

〈図表I-180〉解約・失効経験率(世帯主年齢別) —経験ありの割合—



(2)解約・失効までの継続期間

2021(令和3)年からの3年間における民保(かんばん生命を除く)の解約・失効までの継続期間は11年2カ月となっている。

前回と比較すると、7カ月長くなっている。(図表I-181)

〈図表I-181〉解約・失効までの継続期間



*かんばん生命を除く

(3) 解約・失効契約の加入者（被保険者）

2021（令和3）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その加入者をみると、「世帯主」62.8%（前回70.7%）、「配偶者」27.3%（前回21.8%）、「子ども（計）」7.3%（前回6.3%）となっている。

前回と比較すると、「子ども（未婚で就学前・就学中）」が2.3ポイント増加し、「世帯主」が7.9ポイント減少している。（図表I-182）

〈図表I-182〉 解約・失効契約の加入者（被保険者）

(%)

	世帯主	配偶者	子ども (計)	子ども			その他	不明
				（未婚で 就学前・ 就学中）	（未婚で 就学終了）	（既婚）・ 子どもの 配偶者		
2024（令和6）年調査 (2021～2024年に解約・失効)	62.8	27.3	7.3	4.0	2.3	1.0	2.8	0.0
2021（令和3）年調査 (2018～2021年に解約・失効)	70.7	21.8	6.3	1.7	3.4	1.2	1.2	0.2
2018（平成30）年調査 (2015～2018年に解約・失効)	65.9	22.3	9.0	2.2	4.6	2.2	2.5	0.3
2015（平成27）年調査 (2012～2015年に解約・失効)	64.8	21.9	11.5	4.0	5.8	1.8	1.5	0.2
2012（平成24）年調査 (2009～2012年に解約・失効)	59.6	23.7	13.9	6.0	5.6	2.4	2.4	0.4

*かんぽ生命を除く

(4) 解約・失効契約の加入目的

2021（令和3）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その加入目的をみると、「医療費や入院費のため」が52.3%（前回53.0%）と最も多くなっている。次いで「万一のときの家族の生活保障のため」42.8%（前回50.6%）、「老後の生活資金のため」8.3%（前回7.7%）の順となっている。

前回と比較すると、「万一のときの家族の生活保障のため」が7.8ポイント、「災害・交通事故などにそなえて」が4.2ポイント、それぞれ減少している。（図表 I-183）

〈図表 I-183〉 解約・失効契約の加入目的（複数回答）

	医療費や入院費のため	万一のときの家族の生活保障のため	老後の生活資金のため	貯蓄のため	子どもの教育・結婚資金のため	万一のときの葬式代のため	災害・交通事故などにそなえて	財産づくりのため	万一のときのローンの返済のため	介護費用のため	税金が安くなるので	土地・家屋の取得・増改築のため	相続および相続税の支払を考えると	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2021～2024年に解約・失効）	52.3	42.8	8.3	8.0	7.5	6.5	5.5	4.5	3.8	3.3	3.0	0.3	0.3	5.0	0.5
2021（令和3）年調査 （2018～2021年に解約・失効）	53.0	50.6	7.7	7.3	7.0	9.4	9.7	2.7	2.9	2.7	1.2	1.0	0.2	3.6	0.0
2018（平成30）年調査 （2015～2018年に解約・失効）	59.9	45.2	7.1	5.4	5.4	13.4	9.0	1.6	3.0	2.2	1.4	0.3	0.5	3.0	0.3
2015（平成27）年調査 （2012～2015年に解約・失効）	57.7	45.6	7.5	8.0	6.4	8.4	8.0	1.3	2.9	2.2	2.9	0.2	0.4	5.1	1.3
2012（平成24）年調査 （2009～2012年に解約・失効）	55.6	46.6	6.8	5.6	10.6	7.8	9.6	2.0	2.8	2.0	1.6	0.6	0.2	3.6	0.4

*かんぽ生命を除く

(5) 解約・失効契約の解約返戻金の使途

2021（令和3）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その契約で受け取った解約返戻金（払戻金）の使途をみると、「生活費にあてた」が22.0%（前回26.4%）と最も多くなっている。次いで「預貯金に預け替えた」21.8%（前回22.0%）、「他の生命保険の掛金にあてた」10.8%（前回11.9%）の順となっている。

時系列でみると、「解約返戻金はなかった」で2012（平成24）年調査以降、一貫して増加している。（図表 I-184）

〈図表 I-184〉 解約・失効契約の解約返戻金の使途（複数回答）

	生活費にあてた	預貯金に預け替えた	他の生命保険の掛金にあてた	現金で保有した	損害保険商品や株式、投資信託、公社債等に預け替えた	自動車や家電製品等耐久消費財の購入にあてた	住宅ローン等の返済にあてた	その他	解約返戻金はなかった	不明
2024（令和6）年調査 （2021～2024年に解約・失効）	22.0	21.8	10.8	7.3	6.0	4.0	1.3	4.5	33.3	0.8
2021（令和3）年調査 （2018～2021年に解約・失効）	26.4	22.0	11.9	6.8	2.4	3.1	3.6	2.9	30.8	1.5
2018（平成30）年調査 （2015～2018年に解約・失効）	24.8	21.5	15.8	6.5	1.1	4.4	3.8	6.3	25.6	1.9
2015（平成27）年調査 （2012～2015年に解約・失効）	35.2	16.6	15.7	6.4	1.1	4.2	2.9	5.1	21.9	1.8
2012（平成24）年調査 （2009～2012年に解約・失効）	32.3	21.1	15.9	5.4	1.6	4.8	4.8	4.0	19.5	1.8

*かんぽ生命を除く

(6) 解約・失効の理由

2021（令和3）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した理由をみると、「他の生命保険に切り替えたので」が31.8%（前回34.6%）と最も多くなっている。次いで「掛金を支払う余裕がなくなったから」24.8%（前回23.0%）、「義理で買ったものなので」12.0%（前回11.9%）の順となっている。

前回と比較すると、「他に有利な貯蓄手段があったので」が5.1ポイント増加している。（図表I-185）

〈図表I-185〉解約・失効の理由（複数回答）

	他の生命保険に切り替えたので	掛金を支払う余裕がなくなったから	義理で買ったものなので	掛金が更新により高くなったから	まとまったお金が必要となった	高額な保障が必要なくなったから	他に有利な貯蓄手段があったので	イメージしていた商品内容と異なるため	離婚や子どもの独立など家族の構成が変わったから	期間が長すぎるのでいやになった	少額すぎて生命保険として役に立たない	生命保険はインフレに対応できないと考える	加入後のアフターサービスが不満だった	経営内容が不安だった	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2021～2024年に解約・失効）	31.8	24.8	12.0	9.8	9.8	7.5	6.8	4.5	3.8	3.5	3.3	1.0	0.8	0.3	11.5	0.8
2021（令和3）年調査 （2018～2021年に解約・失効）	34.6	23.0	11.9	12.8	9.9	8.0	1.7	3.4	1.7	4.6	3.6	0.7	2.4	1.5	9.2	1.5
2018（平成30）年調査 （2015～2018年に解約・失効）	33.0	31.9	10.4	14.4	11.2	7.6	1.9	3.0	3.0	3.3	3.0	0.8	2.7	0.8	10.4	1.9
2015（平成27）年調査 （2012～2015年に解約・失効）	31.4	33.6	7.7	13.1	8.0	6.0	2.0	2.0	3.3	0.9	3.3	0.0	3.3	1.8	7.7	2.4
2012（平成24）年調査 （2009～2012年に解約・失効）	34.1	32.5	11.4	13.3	10.6	7.4	1.2	2.4	1.6	3.6	3.0	0.6	4.4	2.0	7.4	2.0

*かんぽ生命を除く

(7) 切り替えた理由

2021（令和3）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した主な理由として「他の生命保険に切り替えたので」と回答した世帯に、切り替えた理由を尋ねたところ、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから」が57.5%（前回58.0%）と最も多くなっている。次いで「掛金が安かったから」35.4%（前回32.9%）、「保障の範囲が広がったから」20.5%（前回25.2%）の順となっている。（図表I-186）

〈図表I-186〉 切り替えた理由（複数回答）

	保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから	掛金が安かったから	保障の範囲が広がったから	営業職員や代理店の人の説明が優れていたから	営業職員や代理店の人が熱心だったから	営業職員や代理店の人が縁故者・知人だったから	加入者へのサービスが良さそうだったから	配当金が多そうだったから	会社（生命保険会社、郵便局、JA等）の経営内容が良かったから	仕事上のつきあいや取引で頼まれたから	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2021～2024年に解約・失効）	57.5	35.4	20.5	10.2	9.4	7.1	4.7	3.9	1.6	0.8	5.5	0.0
2021（令和3）年調査 （2018～2021年に解約・失効）	58.0	32.9	25.2	7.7	8.4	7.0	2.1	4.2	2.1	2.8	4.2	0.0
2018（平成30）年調査 （2015～2018年に解約・失効）	60.3	35.5	28.9	9.1	2.5	8.3	3.3	2.5	1.7	1.7	6.6	0.0
2015（平成27）年調査 （2012～2015年に解約・失効）	59.2	39.4	23.9	7.0	5.6	13.4	2.8	3.5	2.1	1.4	7.0	0.7
2012（平成24）年調査 （2009～2012年に解約・失効）	70.2	36.3	19.3	5.8	5.3	11.1	7.0	4.7	2.3	3.5	5.3	0.0

*かんぽ生命を除く